

# 4月22日（水）第20回裁判

## 120名傍聴席を満席にして 私たちの願いをアピールしよう

### 午前10時開廷

大阪地方裁判所の202号大法院前  
伊藤事務局長、宮崎さんがいます。



三〇万人署名を二〇〇九年秋までに

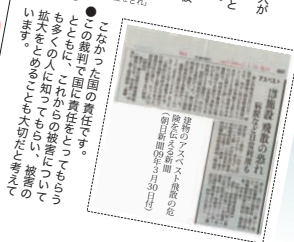
四月二十二日の裁判では、水嶋潔医師が、近隣被害の原告や家族被害の原告の具体的な症状等を証言します。法廷を満員にして、裁判所に私たちの意気

まさに、裁判は最大の山場  
三〇万署名と満員の法廷傍聴へのご協力を  
泉南アスベスト国賠は、すでに、原告側の森裕之准教授、水野洋医師、田口直樹准教授、国側の岸本卓巳医師、沼野雄志氏、輿重治氏の各証人尋問が終了し、今後は、原告側の水嶋潔医師の証人尋問等を経て、七月まで原告全員が直接被害を語る本人尋問が続きます。まさに、裁判は、最大の山場を迎えています。

- 裁判では、
- ①国民の命や健康よりもアスベストの有用性を最優先する国の産業政策や、
  - ②国が早くから泉南地域の深刻なアスベスト被害を良くして知っていたこと、にもかかわらず、
  - ③国は有効な規制も対策も行っていないことが次々に明らかになってい

### 5月27日団体代表者会議

#### アスベスト被害を拡大させない



小学習会、勉強会を企画しませんか。  
講師を派遣します。

込みや社会的関心の大きさを伝えましょう。そのことが、原告を励まし、裁判勝利の道を切り拓いていくことになります。  
三〇万署名と満員の法廷傍聴へのご協力を心よりお願いします。



2009.1.29 裁判報告集会

## 泉南勝たせる会ニュース

大阪泉南地域のアスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会

第3号

2009.4.6

連絡先  
泉南地域の石綿被害と市民の会

tel. 072-483-4981

fax. 072-484-0641



# 史上空前の産業災害

使用禁止を遅らせて、いまだに完全救済しない政府の責任を裁判で明らかにさせよう。



大阪市立大学名誉教授  
滋賀大学元学長

宮本憲一さん

全世界で約一億八〇〇〇万トン消費  
中皮腫の死亡者は約一八〇万人か

日本はアスベストを約一〇〇〇万トン消費したと推定され、村山武彦の推計では、今後四〇年間に中皮腫死亡者は約一〇万人としている。この推計からみると、これまでに全世界で約一億八〇〇〇万トン消費しているのに、中皮腫の死亡者は約一八〇万人としてもよいかもしれない。ヘルシンキ・クライテリアで、石綿肺ガンはその約二倍とすると、約三六〇万人となり、両者で約五〇〇万人をこえるといってもよいかもしれない。これに加えて、石綿肺で苦しんでいる被害者やその死亡者などを考察すると、アスベストの被害は、史上空前の産業災害といっても過言でない。

論文「アスベスト災害対策を検討する」から

**傍聴席を満席にすることは、  
「署名10万にも匹敵する」といわれています。**

引き続き裁判傍聴へのご協力をお願いします。

## 今後の裁判日程

4月22日（水）

5月27日（水） 第一次署名集約10万

6月10日（水）

24日（水）

7月15日（水）

（14日・15日 首都圏から署名を持って大挙来阪）

29日（水）



**秋には結審 翌年春に判決**



3.26



三月二十六日、原告、勝たせる会代表、弁護士二〇名で、東京行動に参加しました。厚生省・環境省前での宣伝、首都圏の土建組合などへの申し入れ行動、そして石対連の日比谷公会堂での集会に参加し、デモ行進してきました。

がんばって  
ドラマ、要請、デモ、  
しました東京行動  
討論集会などなど